



平成 25 年 9 月 3 日

## 第 21 回 長崎キワニスクラブ例会資料

1. ゴング・・・開会
2. 国歌斉唱
3. 会長挨拶
4. 昼食
5. グッズ作成について (資料No.1)
  - (1) カンパッチ(イベント参加時に配布) @110× 500 個=55,000 円
  - (2) ミラーコート(会員の名刺に貼る) @1.4×15,000 枚=21,000 円
6. 寄付について
7. 各委員会検討
  - (1) 前回までの検討事項 (資料No.2~3)  
次年度の具体的活動の検討
  - (2) 事業委員会活動  
・9月28日(土) 畦刈小学校にて「子供さかな捌き教室」への参加についての説明
8. その他
  - (1) 次回例会案内 (資料No.7)

第22回例会開催日	平成25年 9月17日(火)	12:30~
第23回例会 第1回年次総会・懇親会開催日	平成25年10月17日(木)	17:00~
9. 閉会・・・ゴング

以上



32mm  
裏面はダブルフックピン  
@ 110 X 500 個 = 55,000 円



20\*10mm

紙：ミラーコート (名刺貼付用)

特色1色 (ダークブルー C100+M90+Y10)

@ 1.4 X 15000 枚 = 21,000 円

## 各委員会(メンバー)及び活動内容

### 委員会

#### 1. 総括 大堀会長

#### 2. 総務・メンバーシップ 7名

##### 活動内容

- ・企画主催と財務上の予算の立案、審議及び広報に関する事項など。
- ・会員の入会、退会及び出席率向上に関する事項など。

委員長 増田 朋和 副委員長 武富 宏邦

##### 委員

西畑伸造 樋口省二 栗林宏光 横山洋一 坂井 俊之

##### 前回検討内容

- ・会員拡大のため1会員、1人紹介運動で50名を目指す。
- ・将来に向けて事務局長と事務局のあり方を考える。(事務局業務の抽出)
- ・収支実績情報を委員へ報告。
- ・来年度予算について
- ・例会出席状況について(代理出席を含め70%)
- ・2012.9～2013.9間での活動報告

#### 3. 事業

##### 活動内容 8名

- ・夏季、冬季家族会実行委員会の設置・運営及び例会の講師の選考並びに講座の設定など。
- ・キワニスドール活動関係など。

委員長 福島 武 副委員長 瀧本 裕 梶原 佳貴

##### 委員

王 國雄 加城 敬三 指方 安代 橋村 和子 一ノ瀬 博人

##### 前回検討内容

- ・今年は秋頃を目処に、子供向けの体験型事業を一つ実施する。
- ・最初から長崎キワニスクラブが主催するのは難しいので、他団体などが主催している事業をサポートすることから始める。
- ・毎年9月～10月に畦刈小学校の生徒を対象に実施している、魚さばき教室の事業を手伝う案が候補になった。
- ・参加してくれた子供たちへプレゼント。(カンバッチ等、熊本は自主作成)

## 4. 社会公益 7名

- ・キワニス社会公益選考委員会の設置並びに運営など。
- ・青少年の教育活動と文化活動など。

委員長 副委員長

委員

藤井 潤 横瀬 昭幸 福富 卓 寺澤 律子 福田 浩久 田口 直樹 中島 和男

前回の検討内容

- ・「青少年の教育と文化活動」は、所属する会員「NTT、十八銀行、NBC」に社会見学の対応が出来るので活用したい。  
NTTの「子供を有害サイトとから守る」や十八銀行の「お金の仕組み～お金の使い方」など社会での基本的な知識を得る機会が作れる。
- ・参加者は、何人程度集めるのがよいか。  
(熊本の乗馬体験は20名程度、子供大使任命は幼稚園の年長全員と様々である)
- ・対象者の選定は任意に行っている。  
(会員の子供、孫などから始め広げていく)

## 5. 国際交流 7名

- ・本クラブの国際関係事項及び他キワニスクラブとの交流に関する事項を担当する。

委員長 岩永 昭洋 副委員長 廣瀬 生寛 松藤 章喜

委員

梅山 賢一 劉 美成 井筒 亮平 吉田 修司

前回検討内容

- ・県内の外国人子供たちとの交流を図ることの方向性を確認した。
  - ・県内居住の外国人子供たちが長崎での生活に安心して希望に満ちたものになるような手助けを行う
  - ・サークル、会合を通じて外国人子供たちが積極的に心を開いて地域生活になじめ併せて将来に希望が持てるその手助けになる。
- 例・・・地域の清掃活動
- ・活動準備として上記対象者の県内居住先の確認作業が必要であり個人情報等をクリアしてコンタクトを取るかが問題点である。
  - ・様々な活動を通じて世界の子供たちとの交わりを重ね子供たちが何を望み何を希望しているかを確認しながらその手助けとなることを活動の目的とする。

検討内容は、2013.7.16例会